

小学校における英語学習導入のための教員研修

—公立小学校での実践を踏まえて—

川口 康子

Yasuko Kawaguchi: Training for the Preparation of English Classes by Elementary School Teachers

— Based on the Practices at Public Elementary Schools —

はじめに

平成14年度より施行される学習指導要領において「総合的な学習の時間」が新設され、これにより学校裁量によって公立小学校において「国際理解教育の一環として外国語（英語）会話」を導入することが可能となった。研究開発学校のみならず、その他の小学校においても、すでに導入に向けての検討がなされ、移行措置期間の平成12年度、英会話学習の導入に踏みきった小学校もある。

筆者は平成12年度英会話学習が行われた鳥取県下の公立小学校へ出向く機会を得た。研究開発学校ではなかった小学校においては、研究開発学校やその他の先進校で実施された内容や指導方法を参考に、また市販の教材を利用して、それぞれ指導目標と年間学習計画を立てて英語の授業が行われている。しかし十分な事前研修が行われないまま授業を担当することとなった学級担任のなかには、戸惑いと負担感が大きい人もいるようである。その主たる要因として、担当者自身に英語に対する苦手意識があること、あるいは英語の知識や指導法の修得が未だ不十分であるため、児童の学習状態に対して柔軟な対応ができないこと等があげられる。いずれの小学校に

においても授業後の反省会の席で上述の問題点が提出された。

では、こうした反省点を改善するため、学級担任は何をどのように研修すべきなのか。本稿では平成12年度に初めて英会話学習を導入した鳥取市立の小学校の事例から、特に学級担任が英会話学習の担当者であり、外国人講師の日常的な支援がない場合の実情に焦点を当て、導入初期段階における教員研修の在り方を検討したい。

1. 公立小学校での英会話学習の実態

1.1 指導目標と年間学習計画の設定

鳥取市立遷喬小学校は、1学年が1学級という小規模校である。平成12年度、1年生から6年生まですべての児童を対象に英会話学習が開始された。先進校で実施された内容と指導方法を参考に目標と年間学習計画が立てられた。

〈国際理解教育（英会話）の目標〉

進んで自己表現・コミュニケーションを図ろうとする能力を養い、外国に対する興味関心を引き出し、国際社会を共に生きる人間として必要な考え方や能力、態度を身につけさせる。

この目標において、当小学校では外国語教育とし

ての英語ではなく、あくまで国際理解教育の一環として英会話学習が導入されたことがうかがえる。小学校において国際理解教育としての英語かあるいは外国語教育としての英語を導入すべきかについては、議論をつくすべきことではあるが、この課題については別の機会にゆずりたい。

次ページに示す〈資料1〉は、当小学校の年間学習計画である。英会話学習の導入初年度のため、高学年を対象とした授業も低・中学年の内容が取り入れられるなど、厳密に計画通りに実施されたわけではなく、また全ての言語材料が実際に導入されているわけでもない。その中のどの内容を取り扱うかは、学級担任に一任された。

また全学年を対象に以前より行われていた交流活動は引き続き実施され、平成12年度は10人の外国人ゲストを招き、全学年を縦割り10グループに分けて、各グループで剣玉、折り紙等の遊び、ゲストの国の紹介等が行われた。

1.2 英会話学習の授業例

鳥取市立末恒小学校においても、同様の経緯で平成12年度に英会話学習が開始された。当小学校では平成11年度に試行的に総合的な学習の取り組みが行われ、その成果と他の先進校の事例をもとにして平成12年度の年間学習計画が設定された。平成12年度に行われた公開授業のうち、4例を取り上げる。

〈資料2〉 総合的な学習の時間の授業研究会

研究主題 『豊かな心で たくましく生きる末恒っ子の育成』

総合的な学習の推進：「21世紀に生きる子どもたちに必要な学習」を展開する。

公開授業

1) 題材「好きですか？」(3年生)

1. あいさつ

Hello. How are you? I'm fine, thank you. How are you?

I'm fine, too. Thank you.

2. ピザの注文：好きなトッピングでお気に入り

のピザを注文しよう。

前時に色塗りしたトッピングを外国人ゲストの発音を聞きながら練習する。

asparagus, mushroom, ham, bacon, olive, salami, tomato, corn, onion, green pepper, pineapple, potato

What's this? It's asparagus. Do you like asparagus? Yes.

(板書、英文の説明)

3. 「三匹のこぶた」 Three Little Pigs : 外国人ゲストによる本の読み聞かせ

日本語による説明は省き、英語によるお話に浸る。

2) 題材「何色ですか？」(4年生)

1. 歌「カントリーロード」 Country Road

カタカナで示された歌詞

2. 色の学習

What color is this? It's yellow.

(pink, red, blue, green, white, black, gray, brown, purple)

3. 果物、野菜、動物の色

What color is this? It's red. (イチゴを提示)

(lemon, watermelon, tomato, lion, elephant, rabbit, etc.)

3) 題材「誕生日は何月ですか？」(5年生)

1. あいさつ

Hello. How are you? I'm fine, thank you.

How are you?

I'm fine, too. Thank you.

2. 12ヶ月

January, February……December

3. 誕生日は何月ですか?

What month is your birthday? January.

(板書、説明)

4) 題材「何をしているところですか？」(5年生)

1. あいさつ

Hello. How are you? I'm fine. Thank

〈資料1〉鳥取市立遷喬小学校 平成12年度年間学習計画

学年	時	主 題	ね ら い	主 な 言 語 材 料
低 学 年	1	おはよう、こんにちは	英語で「おはよう」「こんにちは」を言い合って遊ぶ。	Good Morning. Hello. Hi. 'Good Morning to You' A,B,C,D,E
	2	こんにちは、さようなら	英語で「こんにちは」「さようなら」を言い合って遊ぶ。	Hello. Hi. Good-bye. See you. 'Good Morning to You' G,H,I,J,K
	3	こんにちは、はじめまして	英語で初めて会った時のあいさつを言って遊ぶ。	How do you do? Nice to meet you. L,M,N,O,P
	4	アルファベットソング	アルファベット26文字を正しい発音で言う。 英語のアルファベットソングをみんなで歌う。	Q,R,S,T,U,V,W,X,Y,Z 'The Alphabet Song'
	5	英語の数字遊び	英語で1から10までの数字を言って遊ぶ。 英語で「10人のインディアン」を歌う。	one, two, ……ten 'Ten Little Indians'
中 学 年	1	こんにちはは、はじめまして	英語で初めて会ったときのあいさつを言う。	Hello. How do you do? I'm ~./I'm ~./I'm ~. Nice to meet you.
	2	やあ、ごきげんいかが？	やあ、「ご機嫌いかが？」を英語で言う。	Hello. How are you? /I'm fine, thank you. And you?
	3	学用品を使った英語遊び	英語で学用品の名前を言って遊ぶ。	textbook, pencil, eraser, notebook, ruler, scissors, pencilcase, stapler, desk, chair I have ~.
	4	朝、昼夜のあいさつ	朝、昼、夜のあいさつを使い分ける。	Hi. Hello. Good morning. Good afternoon. Good evening.
	5	今日の天気は？	英語で今日の天気を言って遊ぶ。	fine, cloudy, rainy, stormy, snowy. How is the weather today? /It's ~.
	6	飲み物を使った英語遊び	英語で飲み物の名前を言って遊ぶ。	juice, coke, milk, cider, water, coffee, tea, green tea, cocoa, wine I like ~.
	7	まわりの人たち	まわりの人たちを英語で言う。	friend, classmate, student, teacher, mother, father, brother, sister, grandmother, grandfather I have a ~. I have (two) ~. Do you have ~.
	8	知っていますか？	「～を知っていますか？」を英語で言う。	my (mother, father, sister, brother) Do you know ~? /Yes, I do. No, I don't.
	9	好きな果物	みんなで「果物が好きですか」と言って遊ぶ。	orange, apple, banana, grape, strawberry, pear, melon, pineapple, watermelon, peach I like ~. Ken likes ~.
	10	フルーツバスケット	英文を使った「フルーツバスケット」で遊ぶ。	I like ~. Ken likes ~. lion, koala, bear, giraffe, elephant, horse, hippo, rabbit, pig, monkey, dog, cat
	11	好きな動物	みんなで「動物が好きです」と言って遊ぶ。	I like ~. Ken likes ~.
	12	21までの数字	英語で1~21までの数字を言って遊ぶ。 英語で野菜の名前を言って遊ぶ。	one, two, ……twenty one What's this? /It's ~. tomato, radish, potato, sweetpotato, asparagus, cabbage, onion, eggplant, pumpkin, cucumber
高 学 年	1	教室にあるもの	教室の中にあるものを英語で言って遊ぶ。	What's this? /It's ~. desk, chair, blackboard, door, chalk, eraser, window, curtain, timetable, clock
	2	いろいろなお店屋さん	英語でお店屋さんの名前を言って遊ぶ。 色を使った「リズムチキヤングゲーム」をする。	What's this? /It's ~. hamburger shop, ice cream stand, pharmacy, pizza house, res- taurant, fruit shop vegetable shop, dress shop, tailor's shop, shoe store, stationery store, candy shop, sport goods shop, flower shop, toy shop
	3	きょうは何曜日？	みんなで「きょうは何曜日」と言って遊ぶ。	Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday. It's Monday today.
	4	きょうは何月？	みんなで「きょうは何月」と言って遊ぶ。	January, February, March, April, May, June, July, August, September, October, Novem- ber, December
	5	きょうは何日？	みんなで「きょうは何日」と言って遊ぶ。	first, second, ……thirty-first It's October the fifth today.
	6	体の部分	英語で「体の部分」を言って遊ぶ。	head, neck, shoulder(s), chest, hip, hand(s), elbow(s), leg(s), knee(s), toe(s)
	7	顔の部分	英語で「顔の部分」を言って遊ぶ。	eye, nose, mouth, hair, ear (s), cheek (s), lip (s), tooth (teeth), chin, eyebrow (s)
	8	働く人	みんなで「働く人を表すことば」を言って遊ぶ。	What's this ~? It's ~. teacher, doctor, dentist, nurse, cook, driver, singer, office worker, pilot, baseball player, policeman, actor/actress I want to be a ~.
	9	好きなスポーツ	みんなで「スポーツが好きです。」と行って遊ぶ。 英語の歌「きよしの夜」を歌う。	soccer, dodgeball, swimming, volleyball, baseball, running, pingpong, softball, basketball, tennis I can play ~. 'Silent Night'
	10	動作を表すことば	みんなで「動作を表すことば」を言って遊ぶ。 英語の歌「きよしの夜」を歌う。	play, like, eat, drink, have, want, swim, run, walk, study, sing I ~. You ~.
	11	動作を表す文	「動作を表すことば」を使って文を言う。 「英語のナンバークール」で遊ぶ。	'Silent Night' We play soccer. I like pingpong.

you.

2. Game I

“Do you have ‘five’?” “Yes./No.”

“Thank you.”

トランプを使用し、指定した数字のカードをもらう。

3. Game II

“What am I doing?” “I am walking.”

run, jump, dance, stand, turn around, etc.

身体表現をしながら、動詞を覚え、ジェスチャーゲームで答える。

4. 終わりのあいさつ

Good-by. See you again.

1.3 授業担当者

いずれの小学校とも、平素は学級担任が英会話学習を担当し、外国人講師とのチームティーチングは行われていない。

末恒小学校においては平成12年度末に中学校に配属のALTに依頼をして、訪問の機会を得た。また留学生が時折外国人ゲストとして協力した。遷喬小学校においては、交流活動時に外国人ゲストを招いたほか、英語を専攻した校区内住民（日本人）のボランティア協力を数回得ている。

1.4 成果

- ① 聞いたり話したりすることに抵抗感を持つ子どもがいるが、教師の大きなジェスチャーやゲーム等の授業の工夫で、児童の恥ずかしさが少しずつ減少する。低年齢で学習を開始した場合の方が、効果が大きい。
- ② 外国人ゲストを迎えての交流活動や英会話学習時に、児童の積極性が増す。英会話学習への動機付けの観点からも、外国人ゲストあるいはALTの支援は重要である。

2. 職員研修会の内容

前述2校の場合、公開学習後の授業研修会の席上で、支援の外国人ゲストやALT、校区内JTEボランティアに対して授業に関する意見を求めるほかに、年度内に2～3回程度職員研修会を実施してきた。筆者が参加した研修会では事前に授業担当者自身が不安を感じる項目を提示し、課題別に研修することで、次年度に向けての改善を図ることが徐々に進んだ。

今年度の担当者の不安と負担感は主として英語に対する苦手意識や、児童のとっさの行動や質問に対応するための情報量が少ないことが要因と考えられる。これまでの研修会で取り上げた内容は次のものである。

- ① classroom Englishや英語の基本的語彙の発音練習
- ② チャンツの練習
- ③ 英語を用いたゲーム

研修会の時間が、いずれの小学校においても限られたものであったため、今年度は取り上げることを見合わせたテーマとしては、国際理解教育(英会話)を導入する教師側の動機付けや基本姿勢についての検討、指導法の見直し、言語材料の精選等がある。

3. 指導法及び内容の課題

遷喬小学校、末恒小学校のいずれの学校とも、音声中心の英会話学習が行なわれている。書くことは指導されていない。しかしながら次のような点が見受けられ、今後の課題である。

3.1 指導法及び言語材料の改善点

- ① Worm upに用いる歌は、語数が少なく、繰り返しの多いものを選ぶ。

カントリーロードはカタカナで書かれた歌詞カードを用いて導入されたが、英語学習上は耳に

する英語の音声だけで聞き取り、歌うことのできるもの、英語の発音上、児童の負担にならないものを選ぶことが望ましい。

② 語彙・構文は最小限にとどめる。

資料1に収められた内容のうち、低学年[4] アルファベット、中学年[4] 昼、夜のあいさつ、高学年[3] お店屋さん、[6] 今日は何日、[9] 働く人は、割愛する。

アルファベットの提示はローマ字の導入時に行くと、児童にとって学ぶ目的がはっきりする。昼夜のあいさつ、店の名前は使用頻度が少ない。日付は発音上困難を伴う。I want to be a teacher. の構文は、限られた語の中から職業を選んで発話することになり、総合的な学習の趣旨に合致しない。

〈導入時の構文例〉

This is _____. What's this?

They are _____. What are they?

What, How many を用いた構文、How is the weather? like, have を用いた構文、動作で表現できる動詞、日常利用する品物、あいさつなど、最も基礎的なものに限定する。

③ 語彙や文章のリピート回数を多くする。

例えば1月から12月までの月の名前を2～3回リピートした後に、すぐにWhat month is your birthday? と尋ねたため、児童は十分に誕生日を覚えていなかった。また各月の英単語を導入する際、提示されたカードが「1月、2月」など日本語であった。季節にまつわる絵と1、2の数字のみにし、日本語は提示しない。January, February等の英語が目には触れることは妨げない。また一般的表現としては、When is your birthday? が用いられ、What month is your birthday? は検討する必要がある。

④ ゲームや歌の利用は、英語の音声やリズムの習得を目的とする。

ゲームや歌を導入すること自体が目的になり、ゲーム・歌を用いて英語の何を習得させるかを明

確にしていない。ゲーム等は英語のリスニングに集中させる一手法として捕まえ、日本語によるゲームになっていないか振り返る必要がある。

⑤ 英文の板書と解説、日本語訳は行わない。

「教える」「理解させる」という態度から脱却することが必要である。教える、理解させることを第一義的に考えるため、英語の提示がゆっくりで、授業のなかで英語の占める時間が少ない。またALTの支援がある場合に、担任が日本語訳を与えてしまい、様々な手段でコミュニケーションを図ろうとするALTの妨げになっている場合も見受けられる。

⑥ クラスルームイングリッシュを用いる。

教師が用いるクラスルームイングリッシュのみならず、児童から先生へ用いる表現、あるいは対話のパターンを習得することは、児童の活動の幅を広げるのに役立つ。学年に応じて順次取り入れていく。教師の用いるクラスルームイングリッシュについては、川口(2000)を参照。

〈児童(a)から教師・ゲスト(b)へ〉

a) How are you? b) I'm fine. Thank you.

a) Nice to meet you.

a) Here you are. b) Thank you. a) You are welcome.

a) Pardon me. a) Excuse me. a) I can't see the picture.

a) I like this game. a) Thank you for coming.

3.2 その他の研修上の留意点

① 教師は使用予定の言語材料の発音、ストレス等を習得する。自然の速度で話すことが大切である。このため、英会話学習開始時には語彙と構文を少数に限定し、十分に習得しておく。

② 他教科の指導方法や内容で応用できるものを検討する。

③ 反復練習を行う際には、ビデオ教材やCD・カセットテープの効果的な利用法を導入する。

④ 児童が自ら収集したり、関心をもった内容等

は、さらに調べる対象として取り上げるなど、柔軟に対応する。

3.3 英会話学習の導入時の要点

英会話学習導入に対し、躊躇する小学校の事例を耳にする。それほどに小学校の現場では英語への反応が厳しい現状がある。では韓国・朝鮮語を導入すると考えるとどうなるであろうか。まず極めて限定された単語を児童と一緒に発音する、身近な表現を反復練習する、その中からもっと調べようと思う事柄を児童が見つけるように促し、児童自らが調べられるよう支援する。日本のことを相手に伝えようとするならば、それに相当する韓国・朝鮮語は何か比較の視点で学習する、などが考えられる。目標は、児童自らが異文化・自文化に興味関心を持ち、調べ、母語であるいは相手国の言語で積極的に表現する、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うことである。すなわち言語学習ではなく、言語を介して、国際理解の姿勢を学ばせようとするのがはつきりする。導入時の英会話学習は、この視点を重視すべきであろう。

同様の考え方を英会話学習の場合に適用すると次のようになる。

- ① 英語学習は特定の国の言語学習ではなく、英語を母語としない人々の共通のコミュニケーション手段の学習であることを認識する。
- ② 英語はコンピュータで使用される言語であり、学習者にとって将来有用である。
- ③ 英語の子音の発音に注意を向ける。日本語との大きな音声上の違いがあり、発音練習は同時に聞き取りの能力向上につながる。
- ④ リズムやストレスは、英語の特徴の一つであり、習得が大切である。そのために、歌やチャントが利用される。
- ⑤ 「教える」ことをいそがない。無理なく、楽しく、繰り返す。
- ⑥ リスニングからスピーキングへとゆるやかに進む。

- ⑦ 限定した基本語彙と文型を用いて多彩な活動を工夫する。この活動の提示は、教師からのみ行うとは限定しない。児童の提案による活動が行われることも、総合的な学習の時間の目標である。
- ⑧ 積極的なコミュニケーション態度の育成を目指し、受身的学習から能動的な発信型へと態度の変容がみられるよう、児童の支援をする。
- ⑨ コミュニケーション能力の育成は総合的な学習の時間のみならず全教科で行うという意識をもつ。
- ⑩ 異文化・自文化に対する関心を高める。

おわりに

幼児の笑顔の写真を撮りたい時には、カメラマンや周りの大人たちが大笑いをすればよいと言う。周囲の人の笑い声に思わず子どもも笑むからである。「はい、笑って。こっちを向いて。」と何度呼びかけても動じない子どもが、笑い声にはじっとしていらなくなる。小学校での英語の授業は、こうした状況に似ている。

まずは先生が異なる言語、異なる文化に興味関心を示す。英語のリズムを楽しむ。コミュニケーションを楽しむ。柔軟な発想を子どもたちに示す。こうした好奇心が授業の活性化の源ではなからうか。元来子どもたちは遊びの天才であり、自由な発想の持ち主である。子ども時代のこのような能力をよりよく伸張するには、それらを育む環境が必要である。

これからの時代、国籍や文化の違いに捕らわれず、誰とでも積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成が肝心であるが、様々な題材に対して、自由に、主体的に取り組む子どもの育成を目指すためには、まずは教師がこれまでの教育方法を見直し、自らが新しい教育環境を構築する意欲を持つことが大切ではなからうか。研修内容の益々の充実を願う。また、教員養成にかかわる者として、さらに研鑽に励みたいと考える。

参考文献

- 1) 鳥取市立遷喬小学校「総合的学習カリキュラム」
2000
- 2) 鳥取市立末恒小学校「総合的学習カリキュラム」
2000
- 3) 築道和明 「小学生の英語指導」 明治図書、
1997
- 4) 川口康子 「公立小学校英語教育のための基礎
的語彙および構文とアクティビティ」 鳥取女子
短期大学研究紀要、第42号、2000年11月